

出雲市斐川町農業委員会委員の任期満了(平成25年6月12日まで)に伴う改選により、新しい農業委員20名が決定しました。任期は平成25年6月13日から平成28年6月12日までの3年間です。この20名が、斐川地域の農地に関しての相談役となりますので、よろしくお願ひします。



会長：竹内辰雄、会長職務代理者：原晴昌、農地部長：古川君和、農地副部長：庄司清吉
農政部長：多々納正夫、農政副部長：曾田時夫、農業者年金加入推進部長：足立進

第20期出雲市斐川町農業委員会 ※〔 〕内は担当区域

1列目(左から)

多々納正夫(阿宮・出西・氷室)、原晴昌(荘原の一部(川北上、中央東、中央西を除く))、
竹内辰雄(神守・求院・併川)、古川君和(美南・福富)、
庄司清吉(名島・鳥井・上直江の一部(原、大島、岩野原東・西・前))、足立進(中洲)

2列目(左から)

安食孝幸(原鹿・今在家)、大場利信(議会推薦)、中間吉信(荘原の一部(川北上、中央東、中央西)、上庄原)、中島一(農協推薦)、古川幹夫(沖洲・黒目)、高橋忠男(神庭・三絡)、伊藤繁満(議会推薦)、江角隆雄(直江)

3列目(左から)

倉橋時男(土地改良区推薦)、曾田時夫(坂田)、長瀬博(学頭)、高木幹雄(三分市)、
福田正(富村・上直江の一部(八頭、平野、新川、駅前))、才木薫(農業共済組合推薦)

近年では、農畜産物の価格の低迷や農村社会の変化、更にはTPPへの参加議論等、農業情勢は大きく変化してきています。ここ斐川地域は、ほ場整備も完了し、担い手への農地集積も6割を超えるなど、順調に営農が展開されてきております。一方で、全国的にも問題視されている後継者不足、耕作放棄地等の課題は、斐川地域においても例外ではありません。これら諸課題の解決と斐川地域の農業の発展に向け、委員全員が全力で取り組んで参りますので、皆様方のご理解ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

ともに活かしてともに育てる農業の輪

農業委員会だより ③



会報55号

農業委員会の業務

農業委員はこのような活動を行っています。

- ◆ 農地法に基づく許認可(農地の転用・売買・賃借等)
- ◆ 農地パトロール(利用状況調査)の実施
※農地の有効利用を図るため、農地を巡回し、遊休農地を調査します。今年は8月～10月の間に実施します。
- ◆ 違反転用に対する指導(農地を農地以外のものに転用するには、農地法に基づく許可が必要です)
- ◆ 農地の利用や権利関係の調整・あっせん
- ◆ 農業者の代表として農政活動を展開し、市・議会等関係機関への建議の実施
- ◆ 農業者への情報提供

農業者年金に加入しませんか。

農業者年金は、農業者のための公的な積立年金です。20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者である農業者の方(年間60日以上農業に従事)ならどなたでも加入できます。これからの安心で豊かな将来設計のために、農業者年金の加入をお考えください。

《農業者年金のメリット》

- 少子・高齢時代に強い積立方式の年金
- 終身年金で80歳までの保証つき
- 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象
- 認定農業者など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助も

おたずね／出雲市農業委員会事務局 ☎21-6762 出雲市斐川町農業委員会事務局 ☎73-9223

行財政改革第2期実施計画の進捗状況

市では、安定した行財政運営を実現するため、合併後おおむね10年間の行財政改革の指針となる「21世紀出雲市行財政改革大綱」を策定しています。これを踏まえ、後期5か年(平成22年度～平成26年度)を対象とする「21世紀出雲市行財政改革第2期実施計画」に基づいた取組を進めているところです。

このたび、計画期間の3年目となる平成24年度の成果について取りまとめましたので、次のとおり報告します。

行財政改革第2期実施計画に係る取組及び財政効果額

実施方針	取組内容	財政効果額 (単位:百万円)
1. 行政の効率化	・事務事業の見直しと業務の民間委託の推進 ・外郭団体の見直し など	95.1
2. 定員管理と 給与の適正化	・定員管理の適正化 ・職員給与の適正化と総人件費の抑制・縮減 など	1,345.8
3. 自治自立の 財政運営	・新市建設への財源確保・節減 ・使用料等の負担と補助金等の受益のあり方の検討	730.5
	合 計	2,171.4

※個々の取組内容は、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

おたずね／行政改革推進課 ☎21-6265